

平成 30 年度第 11 回石狩市厚田区地域協議会 会議録

【日 時】 平成 31 年 3 月 20 日 (水) 18:30~19:40

【場 所】 望来コミュニティセンターみなくる

【出席者】 9 人 (15 人中)

役 職	氏 名	出 欠	役 職	氏 名	出 欠	役 職	氏 名	出 欠
会長	築田 敏彦	○	委員	加藤 亞弓	○	委員	平賀 敏和	○
副会長	渡邊 教円	○	委員	河合 徳秋	○	委員	三浦 崇史	×
委員	東 幸子	○	委員	河合 保郎	×	委員	本吉 俊一	×
委員	大内 さつき	×	委員	小山 玲子	○	委員	森田 瞳	○
委員	小笠原 英史	×	委員	今 光江	×	委員	吉村 貴文	○

※正副会長を除き、あいうえお順

企画経済部～三上主任

支 所 ～ 西田支所長

江崎隊員

事務局 ～ 高田地域振興課長・今田主査・川村主査

(地域振興課)

【傍聴者】 1名

- 【次 第】
1. 開会
 2. 会長あいさつ
 3. 情報交流 (リラックス タイム)
 4. 協議事項
 - ・ 住民アンケート会議「最終報告書」(案)について
 5. 報告事項
 - ・ 学校跡地利活用の検討状況について
 - ・ 厚田区あったかニュースについて
 6. その他
 7. 閉会

1. 開会

【(厚)地域振興課 高田課長】

- ・ 開会の前に、三浦委員、大内委員、本吉委員、河合保委員、小笠原委員、今委員の6名から欠席の連絡があったことを報告する。

2. 会長挨拶

【 築田会長 】

- ・最近暖かい日が多く、いよいよ春の訪れが近づいてきた。年度末のお忙しい時期にお集まりいただき、感謝申し上げます。
- ・本日は、住民アンケートの最終報告書について、住民アンケート会議から、前地域協議会会長でもある佐藤委員が説明員として出席されていることをご報告する。
- ・アンケートの最終報告書については、地域として新たな取り組みに向けた話となるので、皆様にはいつものとおり積極的なご発言をお願いします。

3. 情報交流 (リラックス タイム)

- ・地域おこし協力隊活動報告会 (3/9) の状況について (江崎隊員)
- ・区内各校の卒業式について (望来小学校 (3/19) : 加藤委員、厚田小学校 (3/20) : 渡邊副会長)
- ・厚田港の状況について (吉村委員)

4. 協議事項

住民アンケート会議「最終報告書」(案) について

【 住民アンケート会議 座長 河合徳委員 】

- ・このたび住民アンケートを「最終報告書」としてまとめた。
- ・アンケート会議は一昨年12月からスタートし、1~2月にアンケート用紙の「配布・回収」、5月に「集計の速報」、10月に「中間報告」を行い、年齢、地域、男女別など、様々な視点から結果を分析し、「地域に求められていることは何か」を探ってきた。
- ・この間、地域協議会の皆様をはじめ、多くの方にご協力いただき、厚く感謝を申し上げます。
- ・最終報告書ではアンケートに回答いただいた1,346人の方々に深く感謝しつつ、回答からその思いを「これからのまちづくり」に役立てていただけることを願い、「アンケート会議の提言」としてまとめた。
- ・最終報告の詳細については、アンケート会議委員で、地域協議会前会長の佐藤先生にバトンタッチし、説明させていただく。

【 住民アンケート会議 佐藤委員 】

◎アンケートに至る経過確認 **P2~参照**

- ・これまで厚田区は目指す将来の姿を「近説遠来」として掲げ、その実現に向け地域で様々な取り組みを続けてきた。
- ・「遠来」に関しては
 - ① 道の駅のオープンにより5ヶ月で来場50万人到達
 - ② 戸田記念墓地公園の桜の時期には40万人の来園者
 - ③ その他、朝市や地域振興団体や地域イベントなどに多くの人々が訪れている。
- ・厚田に人を呼び込む(遠来)「交流人口」の増加については一定の結果が現れてきている。

- ・一方、「近説」に関しては、
 - ・地域では「いつまでも安心して暮らしていく」ことが求められるが、厚田区の人口は全体的に「右肩下がり」の状態が続いている。 **P5 参照**
 - ・少子高齢化は全国的な課題であり、厚田区では特に色濃く影響を受けている。
 - ・人口減少が続く中で、支える側の高齢化等もあいまって、従来の地域の支え合いは成立しなくなってきている。
 - ・新たな支え合いの仕組みが必要である。 **P3 参照**
 - ・「少子高齢化」→「人口減少」→「担い手の不足」→「地域の衰退」といった負の循環からの脱却を目指す。
 - ・「交流人口」から「定住(流入)人口」を導く仕掛けが必要である。
 - ・最終報告ではアンケート会議の提言として、これからの地域づくりの方向性を示した。 **P67 参照**

◎「近説」の実現 **P7~9 参照**

- ・地域では「高齢化」がますます進み、元気で地域に住み続けられる人がどんどん少なくなっている。
- ・支所も組織のスリム化、人事異動、定年退職等で昔なじみの職員が少なくなっている中、従来の仕組みで良いのか。
- ・地域の人が「豊かで」「安心して」「楽しく」生活を送るため、そこで示されたものが「厚田カンパニー構想」である。
⇒「従来の仕組み」にない、「新たなコミュニティの仕組み」が必要。

◎アンケートの回答について **P10～参照**

- ・アンケートでは15歳以上の住民9割から回答を得た。
- ・年代別では40代以上で7割前後を超える回答があり、特に人口割合の高い60-70代からは8割近くの回答があった。
- ・地域別でも回答率に差はあるが、全体では殆どの地域で6割以上の回答があり、厚田区の住民の意見がほぼ反映されていると言える。
- ・「住民が何を望んでいるか」を読み取るため、地域別、年代別、男女別など、様々な視点から集計結果を分析した。

◎アンケート分析結果 **P31～参照**

- ・厚田区住民の三大課題は「買物の不便」「交通の不便」「少子高齢化・人口減少」である。
- ・これに関してはアンケートをとらなくても誰もがわかっていることだが、年代別、地域別に分析を加えていくとこれまで見えていなかったことが見えてきた。
- ・「厚田の課題は何か」の設問については、
『年代別』では、10代で「交通の不便」が一番の課題と感じている人が多く、年代の高まりとともに「少子高齢化」を課題と感じている割合が増えることなどがわかった。
『地域別』では、「交通の不便」が全地域で高い割合を示し、特に虹が原、越後沢、小谷で高くなっており、地域によっても様々な違いがあることが明らかとなった。 **P33～34 参照**
- ・「いつまでも厚田に暮らしたいか」の設問については、
『年代別』には、年齢の高まりによって「いつまでも暮らしたい」とする人の割合が高くなり、
『地域別』では、ほとんどの地域で5割以上が「いつまでも暮らしたい」を選択し、古潭、嶺泊、正利冠で特に高い割合を示した。 **P42～43 参照**
- ・「地域に何が必要か」の設問については、
『年代別』には、若い世代(10-20代)で、「地域交通」「働く場所」を求める一方で、50代以上の世代では「医療・福祉サービス」「高齢者住宅」の割合が高く、
『地域別』では、「地域交通」が全地域で高い割合を示し、特に嶺泊以南で高い割合を示した。「福祉」も特に嶺泊で高く、「見守り」は安瀬で高い割合を示した。 **P45～46 参照**
- ・「どのような地域活動に参加したいか」の設問については、
『年代別』には、60代で「住民同士の交流活動」「健康づくり活動」、70代で「福祉活動」「防犯活動」、80代で「福祉活動」「交通安全に関する活動」の割合が高く、
『地域別』では、「イベントへの参加」が桂沢、発足、「防犯活動」が古潭、「住民同士の交流活動」が安瀬で高い割合を示した。 **P61 参照**
- ・これらから、年代、地域等の様々な違いはあるものの、現在の「日常の不便さ」から「将来の不安」を解消するためのアイデアを話し合い、新たなコミュニティの仕組みづくりの提言を行った。 **P67～参照**

◎地域づくりのアイデア **P70～参照**

- ・集計・分析結果からアンケート会議の委員が解決策を出し合った。
- ・課題解決のポイント **P70 参照**
 - ① 日常生活の不便さを解消
「地域交通を利用した買物」「除雪」「ドア to ドアのデマンド交通」
 - ② 健康・医療・福祉
「デマンド交通を利用した通院」「在宅介護事業の維持」
「健康寿命の更新(芸術・文化活動の支援)」
 - ③ 子育て環境の充実
「学童保育、部活動の充実」「幼小中一貫教育とコミュニティスクール」
「地域資源を活かした魅力ある教育及び厚田ならではの独自支援制度」
 - ④ 移住定住の促進
「廃校利活用(宿泊・研修・体験施設等)」「空き家対策(低廉住宅提供・お試し滞在等)」
「厚田の魅力発信(子育て支援の充実)」
- ・①～④に共通した社会基盤が「地域交通の充実」となる。 **P71 参照**

- ・上記をもとにした取り組みを行い、厚田は**便利な田舎**であることをPR（コマーシャル）していくことが重要である。
- ・情報はSNSを活用し、**幅広く拡散**していくことが効果的である。
- ・人口を増やすためには「20-39歳の女性の減少を食い止めること」「若者を増やすこと」が一番である。
⇒そのためには「**地域交通**」「**教育**」「**カンパニー構想**」がポイントになる。

◎担い手について **P68～参照**

- ・地域には「アイデアを出す人」「意見を言う人」「支援する人」はいるが、自らが中心となり地域を引っ張っていく「**トリガー的**」な役割を果たす人材がいない。
- ・中心になる人がいない。 ⇒ **ドーナツ化現象**（住民参加の場で自らが挑戦する、核となる人材がいない状態）
⇒過疎化が進むと人材確保が難しい。
⇒**トリガー的人材**を見つけ出すことが必要である。
- ・これまでの地域貢献には「個人がやりたいこと」「個人ができること」「地域で求められること」が一致する人材が必要とされていたが、この3つが地域ニーズと一致する人材はそうそういない。
⇒ **人材の確保が難しい**。
- ・そこで「**個人のやりたいこと**」を地域に間口を広げ、「誰でも受け入れる」受け皿を作ることが重要である。
⇒「**やりたい事**」「**できる事**」を実現する場の提供を準備し、自分たちで考え行動する環境を整える必要がある。

◎ロードマップについて **P78 参照**

- ・提案の最後に、**30年後**を見据え、「**自然豊か**」「**住みなれた土地**」「**気心の知れた隣人とともに**」「**いつまでも暮らしたい**」
- ・この目的を達成するため、その**工程表（ロードマップ）**を設け、項目毎に「**短期**」「**中期**」「**長期**」別の目標を掲げた。
- ・ロードマップの**最終目標**は、「**流出口**」より「**流入人口**」の増加を果たすことである。

【(厚)地域振興課 高田課長】

- ・事前に配布していた **最終報告書**は、若干、修正・追加事項があるため、改めて今月中に完成版を配布させていただく。
- ・また、同様に自治会、地域振興団体の長へ配布、説明をする予定。
- ・区内への周知に関しては、A3版4枚程度にまとめ、多くの方々に目を通していただける様、漫画的な表現など取り入れながら作成を進め、今月末の回覧で周知したい。
- ・今後の展開については、
30代・40代の若い方々を含めた区民をはじめ、新規就農者等や地域おこし協力隊なども視野に入れた委員会としたい。
また、前々回から若い人たちの声をどの様に引き出すべきか等の議論を行ってきたが、まずは**気軽に集える集まり**からはじめるべきとの結果を踏まえ、**楽しく、行きたくなる交流**からスタートして行ければと考えている。
具体的な動きについては、**逐次 地域協議会**へ報告して行きたい。

【 築田会長 】

- ・アンケートの回答から住民の思いを集約し、これからの方向性が**最終報告書**でまとめられた。
- ・今後どのように活用していくかが重要である。
- ・最近の地域協議会で若者の活躍について協議したことも、本日の報告の内容に通じる部分がある。
- ・これから具体策を進めていく段階では、皆さんとともに取り進めるべく、よろしく願います。

5. 報告事項

学校跡地利活用の検討状況について

【(厚)地域振興課 高田課長】

- ・閉校後の厚田小学校、望来小学校、聚富小中学校、及び厚田保育園、聚富保育園の有効な利活用について意見を聞く「**サウンディング調査**」が、1月に石狩市役所で開催され、6者から意見をいただいた。
- ・これをもとに市では要綱を作成し、6月以降を目処として募集していく予定である。
- ・スケジュール含め、詳細が判明しだい、皆様に報告させていただく。

厚田区あったかニュースについて

【(厚)地域振興課 今田主査】

- ・次回の厚田区あったかニュースについて、4月末の発行、5月はじめに回覧できるよう準備を進めている。
- ・農漁業の様子、道の駅の近況、学校の様子など、新鮮な情報をお届けできるよう進めているのでご期待いただきたい。

地域おこし協力隊の採用について

【(厚)地域振興課 高田課長】

- ・地域おこし協力隊の新年度の採用について、3/17(日)に面接を実施した。前回の会議で2名の応募があったと報告させていただいたが、面接直前に1名から辞退の連絡があり、当日は1名のみ実施した。
- ・新年度は新規2名分の予算化をしており、今後については「地域おこし協力隊 検討委員会」の中で議論し、地域協議会へ提案させていただく。

6. その他

地域おこし協力隊活動予定について

【(厚)地域おこし協力隊 今野隊員】

- 「昔ばなシアター」について
 - ・日時：3/30(土) 14:00～16:00
 - ・会場：あいかぜとしょかん
 - ・「昔ばなしの朗読」と「音楽」を楽しむ会
 - ・参加費無料
 - ・定員30人
 - ・地域の方にも是非ご参加いただきたい。

【(厚)地域おこし協力隊 江崎隊員】

- 「あいろーどパーク自然観察会」について
 - ・日時：4/20(土) 10:00～12:00
 - ・会場：厚田キャンプ場周辺
 - ・キャンプ場周辺を散策し、動植物の観察を行う。
 - ・参加費無料
 - ・飛び入り参加も歓迎、多くの方にぜひご来場いただきたい。

○次回の日程について

平成31年4月24日(水) 18時30分～ 厚田保健センター

平成31年4月24日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長 薬田 敏彦